

# かけはし

Vol. 35 H20年2月

～下志津病院ボランティア通信～

「成人祝賀会」報告  
1月16日（水）



当院では、重症心身障害者病棟、筋ジストロフィー病棟、通園ルームの皆さんを対象に、毎年成人祝賀会を開催しています。今年は以下の皆さんが成人され、四街道市長にご出席頂き、これまでお世話になった恩師、病棟スタッフが集い温かい成人式となりました。また、声楽家（ボランティア）の江籠沙織さんによる「未来へ」の独唱、カメラマンとして毎年お手伝いを頂いている松本博幸さんにもご協力いただき、ご家族の方と成人を祝い、喜びを共にすることができました。

おめでとう  
ございます



戸張 のぞみ 様



山崎 功 様



柴田 正道様



鴛海 菜々 様

「未来へ」

作詞 作曲 Kiroro

母がくれた たくさんのやさしさ  
愛を抱いて歩めと繰り返した  
あの時はまだ幼くて 意味など知らない  
そんな私の手を握り 一緒に歩んできた  
夢はいつも 空高くあるから 届かなくて怖いね  
だけど追い続けるの 自分のストーリーだからこそ あきらめたくない  
不安になると手をにぎり 一緒に歩んできた

ほら足元を見てごらん これがあなたの歩む道  
ほら前を見てごらん あれがあなたの未来  
未来へ向かって ゆっくりと 歩いてゆこう



江籠さん!素敵な歌のプレゼントを  
ありがとうございました!

「成人を祝う」

ボランティアグループ「ひなげし」 北文子・猿田弥生

私達は正道君のお散歩を依頼され、2年間に渡りボランティアをさせて頂きました。今日の正道君はいつもまして爽やかでハンサムに見えました。祝賀会は本当に心のこもった温かなものでした。特に保護者の方々がお子さんと共に歩かれた20年の月日の重みを感じられました。辛いことの多い中で、我が子を慈しみ、幸せを念じ、20才の今日を迎えた感激が強く伝わってきました。同時に、特別支援学校の先生・熱心な病院スタッフのサポートがあってこそその祝賀会なのだと実感しました。

同時に新成人の皆さんは支える方々に、ほほ笑みを返し励ましていることも分かりました。病院の中で、このような素晴らしい日々の交流があり、喜びに満ちた式にボランティアとして参加できたことに感謝し、帰路につきました。皆様、本日はおめでとうございます!

祝

## ボランティア講習会報告

2月13日(水)

今回は、ボランティアさん13名、保護者会より15名、職員18名が参加し、当院でのボランティア活動について理解を深めました。病院の中のどこでどんなボランティア活動が行われているのかを、スライドでまとめ、紹介しました。その後グループ討議を行いました。  
↓参加した皆さんからの感想です

**ボランティアさん**：「スライドを見て、多くのボランティアによって病院が成り立っているのが分かった。また、それに関わっていられたことを嬉しく思う」「保護者の方とも会えて良かった。話しやすい場を作ってください有り難うございました。」

**保護者**：「たくさんのボランティアに子どもたちが支えていただいていることがわかって感謝している」「ボランティアさんに関わられて良かったと言ってもらえることは、重症児を持つ親として、子どもが社会のためになっているのだと思えて嬉しい」

**職員**：「ボランティアさんは本当に真剣に利用者との関わり方、活動への取り組み方等について悩み考えて下さっているということを知ることができた。職員も真摯にボランティア活動を支援することが大切であると感じた。」



当院のボランティア活動は30種類以上に及びます！

### 感謝状

ボランティア感謝状  
授与式では、右の写真の2組の方々へ感謝状と記念品が授与されました。  
ありがとうございます。そしてこれからも宜しくお願いします！



筋ジストロフィー病棟で、月1回、楽しい本や紙芝居を読んでくださっています。  
内田勝也様 廣田直子様



ロビーコンサートのお手伝いをして下さっています。愛国大学付属四街道高校高等学校JRC部の皆さんです！

## ボランティアさん募集！

現在筋ジストロフィー病棟の6病棟では、入浴日に患者さんの髪をドライヤーで乾かしてくださるボランティアさんを募集しています。そこで6病棟のボランティア委員の富田看護師に、インタビュー形式でお話を伺いました！

Q「ボランティアさんを受け入れる時に気をつけていることは何ですか」  
→笑顔を絶やさず、あいさつやお礼をしっかり伝えるようにしています。また、ボランティアさんをお願いしたい活動内容を分かりやすく伝えるようにしています。ボランティアさんが困っていることには応えられるように、自分も分からない時は他の職員（師長）と相談しています。

Q「ボランティアさんが定着するには何が大切と考えますか？」  
→ボランティアさんへのあいさつや感謝を言葉で表すのはもちろんですが、日常業務の忙しいなかでも、職員全体でボランティアさんを迎える姿勢を意識しなければいけないと思います。  
(例えば、毎日ボランティア担当の係をつけておくなどの決めごとをしっかりと設ける)

Q「ボランティアさんに一言6病棟のピーアールをお願いします！」  
→患者さんはみんな明るく元気です。そして職員も患者さんに負けないくらいに明るく、声をかけあって、チームワークが良い病棟です。

自分のおいしいことをはっきり伝えられる患者さんもいればうまくお話しすることが苦手な患者さんもいます。そんな時には、患者さんに思い切って、たくさん話しかけてみてください。そして分からないことは職員に聞いて下さい。患者さんの思いを代わりに伝えることができますと思います。

活動日：毎週火・金曜日13:30~15:30の入浴日  
(4月以降、毎週月・木曜日に変更になります)

活動できる日時で構いません。

詳細はスタッフまでお気軽にお問い合わせください！！



6病棟ボランティア委員  
富田 看護師

インタビューー  
飛田 児童指導員

ボランティア問い合わせ先

TEL 043-422-2511

アドレス shidou@simosizu2.hosp.go.jp

受付時間 平日 9:00~17:00

下志津病院ボランティア委員会発行



## 筋ジストロフィー病棟花火見学会報告

今年で5回目となった筋ジストロフィー病棟合同の花火見学会は、毎年多くの方々にご協力をいただいています。今年もこの日の為に、60名のボランティアさんが集まって下さいました。本当にありがとうございました！！



「た～まや～！」



笑顔も花火も最高です



迫力満点の三笠会の太鼓演奏

「花火見学会に参加して」 6病棟 看護師 福永茂子

「きれいだったね」「楽しかったね」などなど花火見学会終了後みんなと交わした会話です。後日患者さんが撮った花火の写真もたくさんみせてもらいました。8月21日の花火見学会。多くの患者さんが夜同時に野外へ出る。呼吸器は大丈夫？吸引は？狭い場所でトラブルはないか？等など、開始前まで不安と心配がありました。しかし、ひしめきあう状況の中、患者さん、呼吸器、車いすとも整然と移動し、花火見学から病棟まで心配していたトラブルも無く看護師として参加した私の出番はほとんどありませんでした。痰の多い患者さんもゼロゼロすることなく、元気のなかった患者さんもみんなとてもよい表情で歓声をあげていました。行事にはマンパワーの大切さを感じます。今回も多くのボランティアさんが参加してくださり、家族のみなさんと同じように移動時だけでなく、花火の間もうちわで扇いだり、患者さんに話しかけたり、たくさんの笑顔や会話がありました。細かい気配りをありがとうございました。ボランティアさんの協力ですべて楽しんだ花火見学会。この企画がこれからも続くことを願っています。



近くで太鼓を叩かせてくれました



## ハロウィン仮装パーティーの様子

10月31日、筋ジストロフィー6、7病棟合同でハロウィンパーティーを行いました。衣装は全て手作りで、リハビリのスタッフや医師との共演もあり、賑やかな会となりました。もちろん、ここでもボランティアさんの力は大きく、10名のボランティアさんにお手伝いに来ていただきました。ご協力ありがとうございました！！



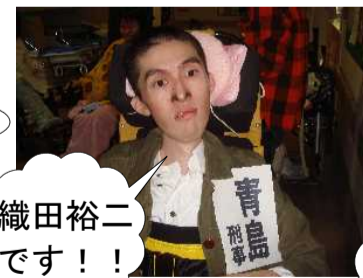
仮装優秀賞に選ばれた「メキシカンロック」



鬼太郎だよ！



猫娘よ！



織田裕二です！！



フック船長だぞ

### ボランティアさんからの感想

- ・初めてボランティア活動に参加して、楽しませていただきました。
- ・リハビリの先生との共演が、一体感がありとてもよかったです。
- ・皆さんから元気をもらいました。

ボランティア問い合わせ先  
TEL 043-422-2511

アドレス shidou@simosizu2.hosp.go.jp  
受付時間 平日 9:00～17:00

下志津病院ボランティア委員会発行